におけるがいをとするののにする

（）

　この（「」という。）は、をとするののにする（。「」という。）のに、また、をとするののに（）に、にするに、がにするためになをものとする。

（）

　において「」とは、、、、にするであって、（）にするのにするのをいう。

（なの）

　は、ののとおり、そのはをに、がい（がい、がい、がい（がいがいを。）のののがい（によりするがいを。）をいう。。）をとして、がい（がいによりにはになをにあるもの。。）でないとなをすることにより、がいのをしてはならない。これに、は、ににするものとする。

（の）

 は、ののとおり、そのはをに、がいからにのをとしているののがあったにおいて、そのにがでないときは、がいのをすることとならないよう、がいの、がいのに、ののについてかつな（「」という。）のをしなければならない。これに、は、ににするものとする。

（の）

　のうち、をするにある（「」という。）は、にに、がいをとするのをするため、のにをしなければならない。

(1) のをにより、がいをとするのに、そのするのをし、がいをとするのにをこと。

(2) がいからな、のに、のがあったは、にをすること。

(3) のがされた、するに、のをにようすること。

２　は、がいをとするにがには、　かつにしなければならない。

（の）

 によるがいをとするにがいそののからのににするためのをがいに。

２　をは、、、にするとともに、のほか、、ファックス、メールに、がいがとコミュニケーションをにとなるなをなでしてするものとする。

３　のには、のプライバシーにしつつでを、のにおいてすることとする。

４　のは、に、をようものとする。

（・）

　は、がいをとするののをため、にのも、に、やのや、がいからををなどな・をうものとする。

２　は、にとなったに、がいをとするのになについてさせるために、また、にとなったに、がいをとするのにについてさせるために、それぞれ、をする。

３　は、がいのやなにをようものとする。

このは、からする。

このは、1日からする。

におけるがいをとするののにに

　なのな

は、がいに、ななく、がいをとして、・サービスやのをするはに・などをする、がいでないにはをことなどにより、がいのをすることをしている。なお、、そのののやののをするためののをとしてなも、がいをとするなにする。

また、がいののをし、はするためになのは、なではない。したがって、がいをがいでないとする（いわゆる）、にされたがいにのによるがいでないとのや、をするためになで、プライバシーにしつつがいにがいのをすることは、なには。

このように、なとは、ななく、がいを、となるはについて、にするががいでないよりにことであるにするがある。

　なのの

なにするのは、がいに、がいをとして、・サービスや

のをするなどのがになのにものであり、そのにやむをないとである。なにするかかについては、なをせずになをするなどしてのをことなく、のごとに、がい、の（：の、の、の）はの・・ののに、やに・にすることがである。

は、ながあるとしたには、がいにそのをにするものとし、をようものとする。その、とがいが、にのをしながらをことが。

　なの

ながなく、なにするとながあるため、なにしないとはのとおりである。なお、でとおり、なにするかかについては、のごとにされることとなる。また、にされているはあくまでもであり、これらのだけにものではないこと、なにするかかについては、のごとに、のをすることがであること、ながありなにしないであっても、のをにはのがであることにする。

（ながなく、なにすると）

○がいがあることをとして、にをする。

○がいがあることをとして、にのをにする。

○がいがあることをとして、にの、の、パンフレットのを、になをする。

○がいがあることをとして、に、シンポジウムへのを。

○・の、にではないにもかかわらず、がいをに、のにのをなどのを、にがないにもかかわらず、がいをにのを。

〇がいのや、サービスのにおけるやのなどについてすることなく、としたのをにをする。

〇のにがないにもかかわらず、がいでないとはでのを。

〇がいがあることをとして、がいに、やのなどにのを。

○がいのをする。

（ながあるため、なにしないと）

〇をにおいて、になのなのががいのあるがいに、とはのをする。（がいのの）

〇のがのをしたに、を、をするためのを。（ののの）

〇をため、がいにしたがしようとしたに、なで、プライバシーにしつつ、がいにがいのやののをする。（がいののの）

　のな

１　のに（「」という。）において、「」は、「がのとのをとしてのをし、はすることをするためのかつなであって、のにおいてとされるものであり、かつ、をはのをもの」とされている。

は、におけるのを、に、そのはをに、のにおいて、がいからにのをとしているののがあったにおいて、そのにがでないときは、がいのをすることとならないよう、ののについて、をことをいる。は、がいがは、がいのみにするものではなく、におけるなとことによってずるものとのいわゆる「モデル」のをものであり、がいのをすることとならないよう、がいがのにおいてとしているをするためのかつなであり、そのにがでないものである。

２　は、はの・・に、とされるでのにするものにこと、がいでないとのにおいてののをためのものであること、はの・・のなにはことにするがある。そのにはこれらのにしたで、がいがにいるを、ののためのについて、「 なのな」にをし、のも、のによるを、かつなで、にがなされるがある。には、がいにとってのをするためのかつなをがいとがにいくために、がののにことがである。、がいがののためにいるや、としてなをのでする、をを、なをにしていくことがなにと。さらに、のは、の、のにものである。のには、がいの、、にするものとし、にがいのあるには、がいにえてであることもがことにする。

なお、がいとのがにわたるには、そののとはに、するのをことにより、・なコストの・につながるがあることもしておくがある。

３　のには、において、のにをとしているにあることを（を。）のほか、、、、のやサインによる、によるなど、がいがとコミュニケーションをにな（をものを。）により。

また、がいからののみでなく、がいによりのがなにはがいの、・、、コミュニケーションをするがをしてのも。

なお、のがながいが、、・、をいないなど、のがないであっても、がいがのをとしていることがであるには、のに、がいにとをするためにをなど、なにものとする。

４

は、のがいのをしてにの、の、アクセシビリティのの「の」をとして、のがいに、そのににされるである。したがって、におけるののにより、のはなることとなる。また、がいのがすることもあるため、に、がいとのがにわたるには、するについて、、をことがである。なお、のがいがをあらかじめするというから、のがいへのについてもしたのをことや、・をにするから、のにをに、やマニュアルのののをことはである。

５　はのとしてするをにするは、されるのにがずることによりがいがをことのないよう、のに、をのについてようことが。

　なのな

なについては、なをせずになをするなどしてのをことなく、のごとに、のをし、やに・にすることがである。は、なにとしたは、がいににそのをし、をようものとする。そのにはのとおり、とがいのが、にのをしながら、をを、のもをにすることが。

○はへのの（はの、、をかか）

○の（・、・の）

○・の

 の

でとおり、は、やに、かつのものであることから、がいとのをがある。

なお、としては、のようなものがあるが、でながしないことをとしていること、また、これらはあくまでもであり、するものではないこと、されているであってもにするものがあることにするがある。

（にたりるへのの）

○があるに、にキャスターのをする、スロープをなどする。

○のにパンフレットを。パンフレットのを。

○目的の場所までの案内の際に、障がい者の歩行速度に合わせた速度で歩いたり、前後・左右・距離の位置取りについて、障がい者の希望を聞いたりする。

○がいのにより、にのがあるに、のをにする。

○をがいからでののがあった、のがであるに、がいにをし、のにをさせてのスペースを。

○によりをことががいに、がを、バインダーのをしたりする。

○やがした、でのをことががいに、のボードを、しを。

〇イベントにおいてがいのあるがやこだわりのあるをしてしまうに、からのやコミュニケーションのについてで、のときはにする。

〇がいのあるからトイレのをするようがあったに、にトイレのをする。その、のがいるは、がいのにのがする。

（にたりるの、へのの）

○、、、、、によるのコミュニケーションを。

○について、、でするに、のでページがことにしてする。

○がいのあるにをする、ソフトにできるようデータ（テキスト）でする。

○がながいに、カードをしてをする。

○などで、でを、にメモをして。

○のに、をのので、でしたりする。のがあるには、やといったを。

○がながいに、や、などをににする。

○がいからがあったに、ゆっくり、に、りしし、がされたことをしながらする。また、なじみのないは、は、はではなく・でするなどのをにメモを、にに。

○のに、ををことがなはにがいのあるやがいのあるに、ゆっくり、なをなどのを。

○のには、がのがいのにサポートを、なでのを。

（ルール・のなの）

○をことがながいに、ののをで、を。

○にをいるに、ののをで、がいのがまでやをする。

○スクリーン、、がよくように、スクリーンにをする。

○をにへする。

○のにおいて、がいのが、、がいとされていないをがいのとしてする。

○との、のにいることによるにより、がある、がいにの、がいのやのにをする。

○はをにおいて、にがことをに、がいのあるのをするのを。

また、のにするとしないととしては、のようなものがある。なお、されているはあくまでもであり、のにするかかについては、のごとに、のをすることがであることにする。

（のにすると）

〇をにがなためデジタルのをが　あったに、デジタルのをがないことをに、なをことなくにをこと。

〇のにをがあったに、「かあったら」というなでなのをせず、をこと。

〇がながいからのによりがようをに、、はによるのみでとすることとされていることをとして、メールやリレーサービスをのをせずにをこと。

〇をとするがいから、のにのをがあったに、がのみのをルールとしていることをとして、であるがいのやの等をすることなく、にのをこと。

〇でのをしているセミナーにおいて、のがいからスクリーンやがよくでのセミナーをするがあったに、のなどのをせずに「はできない」というでをこと。

（のにしないと）

〇のとしていないのをに、そのをこと。（とされるでのにするものにことの）

〇となっているへのについて、のをことがであることをに、へのをにしておくように、をこと。（がいでないとのにおいてののをためのものであることの）

〇イベントに、がいのあるからに、イベントをブースをほしいが、であり、できるがいないことからをこと。（な（・の）の）

 ： がいごとのとなの

「がいを、に」（あいサポーターテキスト）

がい

()

かのによりにがいがあることにより、ととがあります。

(の)

をとき、いるようにをかけましょう。また、をかけるときは、できるだけから。

「こちら、あちら、これ、それ」などのや、「」などをを、「３０センチ」「で」などにしましょう。

【・がい

()

がいには、などがやがあります。また、のものとやでからなるがあります。

がいには、のやながな（、がいなど）と、のにはがなくだけがな（、がい、など）があります。

(の)

のがでないとをことができないがあるので、そのの（、、、など）をしましょう。やのには、が。また、として、ファクシミリやのもです。

があっても、あきらめず、をしましょう。

があっても、ふりをせず、きちんとをしましょう。

【ろう

()

とのにがいがあることを「ろう」といいます。

の「ろう」、の「」、の「ろう」、の「」という、４つのタイプがあります。

(の)

やのが、にを、やなど、それぞれにあったコミュニケーションをみすとをしています。

ときには、にそっとを。いろいろしてそのにあったコミュニケーションを。

【】

()

などによるのあるいはや、のにを、のなどによって・にあるマヒやにより、のやのがになります。

やでにをには、のやのをこともあります。

(の)

いそうなときは、さりげなくをかけ、どんながか。ですることがです。

【がい】

()

からわかりにくく、からされにくいため、ストレスをにあります。

がいのあるだけでなく、がしているため、がし、を、いるなどのをがされます。

(の)

がいのやはです。では、からされずいるがいのあるがいることを。

でをするは、がいのあるにとってにものであることから、ルールやマナーををしましょう。

【がい

()

のがいとのがいなどがしているがいです。でをことはであり、でを、にしたりしてをしています。

(の例)

いすやストレッチャーでのにがいりそうなときには、しているにをかけてみましょう。

【がい】

()

にかのでながにしていないであることへのにがあることをいいます。

「ことばを」「する」「なことを」などにがかかります。また、のをすぐことや、とのにすることがながあります。

(の)

コミュニケーションがうまくときは、ができるようにゆっくりなで。

のににできず、パニックがは、にしましょう。

【がい】

()

ではなくのがいによるもので、どんなにがいがあるか、また、どのくらいのなのかはによってです。からされにくいがいです。

(の)

「なぜできないのか」でなく、どうするとよいかなを、でをに。

「こと」「のこと」やにすることがです。だけでなく、やもにを。

【がい

()

やがい（そううつ）などのでは、や、や、ゆううつ、などが。

(の)

なは、のなストレスとなることがあります。じっくりとをかけてなど、のペースにがです。

【

()

とは、をために、している（アルコールやなど）やをやめようといてもやめられないをいいます。

(の)

は、ののやによるものではなく、にをいるであることをし、がしてをことができるよう、やがです。

【てんかん】

()

ののがにしすぎるために、てんかんがるです。のあるいはがしたり、だけがなどはです。

(の)

「てんかん」についてをしたうえで、を、どのようながかについて、からとおくことがです。

【がい】

()

などのや、・などの、によりがをことによって、「」「」「」「」などのなのにがいがことがあり、これががいです。

からはため、のがすることが、また、ものがいをにできないことがあります。

(の)

はメモをわたすなど、ゆっくり、、に。

やいらいらするがしてをようにしましょう。